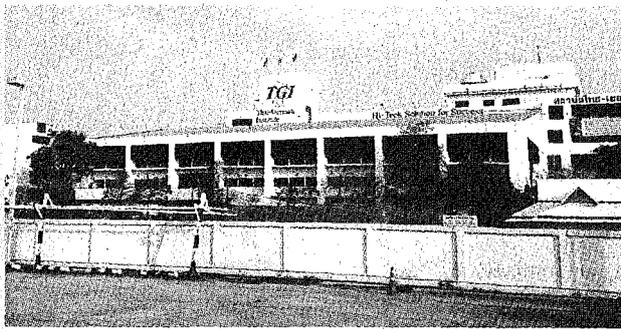




【静岡】三明機工(静岡市清水区、久保田和雄社長、054・366・0088)は4月をめぐり、タイ工業省と連携してチョンブリー県アマタナコン工業団地の職業訓練校内に「三明メカニカルロボットアカデミー」を開設する。ロボットティーチング(産業用ロボットのプログラムを作成する方法)の技能者を育成し、人件費上昇を背景にした日系中小企業などの工場自動化ニーズを支援する。日本企業によるタイでの高等教育機関の開設は珍しい。

職業訓練校「TGI」の校内に開設する。TGIは機械工学系訓練校

### 三明機工



タイの職業訓練校「TGI」内にアカデミーを開設する

## タイで産ロボ技能者育成

で、高性能な工作機械などを備え、メーカーの従業員を対象に短期の実践的な訓練を行っている。三明機工から技術者を講師として随時2、3人を派遣する。運営主体は三明機工のタイ現地法人。生徒だけでなく講師も育成する。現地に工場を持つ日系企業から生徒を募集。一回に6人、年間60人程度を訓練する。大手ロボットメーカーの多関節ロボット3台を設置し、2月中旬に準備を整える。同社は早くからロボットのティーチングを社員に学ばせ、1993年にはダイカストマシン周辺をロボットで全自動化するシステムを開発。タイには11年6月に現地法人を設立。ホンダ、シャコ、リョービなど、現地工場向けのアルミタイカスト部品製造向け自動化システムなどを相次いで

### プログラムの作成訓練

受注している。タイ法人の13年12月期売上高は前期比約1.5倍の3億8000万円を見込む。現地中小企業ではロボットティーチングができる人材が不足し、工場自動化が遅れている。賃金上昇などから、自動化機運が高まっている。

三明機工はロボットやFAシステム、ダイカスト関連の自動化システム、製造プラントを手がける。タイを中心に中小を含めアジアでの受注強化を目指す。